

# エリアウェーブ

## 主な記事・紹介校・団体

- ・一宮中・勝沼中・後屋敷小・山梨小
- ・東雲小・塩山南小・加納岩小・石和北小
- ・大和小・勝沼小・一宮北小・御坂東小
- ・石和南小・子育て支援センターえいわ
- ・境川小・山梨市スポーツ少年団

峡東教育事務所 地域教育支援スタッフ Tel 0553-20-2731 Fax 0553-20-2733



## 百人一首のすすめ

峡東教育事務所 副所長 坂野 修一

一宮北小学校の百人一首大会の様子とイラストのカラーシュ

「ちはやふる」という漫画を知っていますか？今もなお連載中のアニメ漫画で、競技かるたに没頭する少女の青春を描いた漫画です。広瀬すずさん主演で実写版の映画も公開され、テレビでもオンエアされましたのでご存じの方も多いかと思います。私は、小学校時代百人一首に夢中で県大会に何度も出場し、そんなご縁で、現在山梨県かるた協会の副会長を務めています。その私から、子どもたちに、そしてご家族や地域の皆様に百人一首をすすめます。

百人一首を覚え競技することで、どんなメリットがあるのでしょうか？こんなメリットがあると言われてしています。

### 脳が活発に働き、記憶力の向上が期待できる！

百人一首には上の句と下の句があり、取る札には下の句しか書かれていません。読み手は上の句から読むことになるので、まるまる暗記していれば、上の句の一部が読まれるだけで札を取ることができます。百人一首は100の和歌を集めたものなので、全て覚えようとすると時間がかかるものですが、覚えようとすることによって脳が活発に動き、記憶力を鍛えることに繋がります。また、かるたなので、相手よりも早く札を取る必要があります、瞬発力も必要になってきますが、その記憶力と瞬発力両方が必要なことから、脳の活性化に繋がります。



### 日本の文化を理解し、古典の学習が得意になるかも？

百人一首に選ばれている和歌は、多くの詩人から選らんだ100人の和歌を収録しているので、日本の代表的な和歌といえます。百人一首を読んで理解することによって、ある程度の和歌の知識が付き、日本の伝統文化を理解することにも繋がります。新学習指導要領においては、小学校の高学年から親しみやすい古文や漢文が登場してきますが、その勉強が得意になるかもしれません。

3年生や4年生の国語の教科書には、百人一首の中から3つの和歌が取り上げられています。いきなり100首覚えるのには抵抗があるという場合は、五色百人一首をからスタートするのも手かもしれません。百人一首の取り札が5色(桃・橙・黄・緑・青)に色分けされており、一つずつ色を制覇(覚える)していくことでモチベーションをあげることができるかもしれません。また、覚えたら試合をしたくなりますが、1回の試合で使用するのは一色だけですので、決着がはやくつきます。

私が百人一首を初めて学んだ母校一宮北小学校、長く在籍させていただいた石和東小学校では、「百人一首大会」をまだ行っています。御坂東小学校も、全校で取り組んでいると伺っています。コロナ禍において、例年通りの取り組みができなかったと思いますが、今なお続いているんだなああと嬉しくなってきます。是非皆さんも、3密には気をつけながら百人一首を楽しんでみたらいかがでしょうか…。意外にはまりますよ…。



## 「ありがとう税金」一日税務署長訓示

山梨税務署・納税貯蓄組合連合会

山梨税務署と山梨地区納税貯蓄組合連合会は、共催で「税の作文コンクール」で最優秀賞に輝いた生徒を山梨税務署の一日税務署長として迎えるイベントを行ってきました。今年で第53回となるコンクールに応募した全11校、342作品の中から最優秀賞に輝いた一宮中の石山 愛花さんが、昨年12月22日に一日税務署長を務めました。石山さんは「署長訓示」として税務署の職員や納税貯蓄組合の関係者を前に「ありがとう税金」と題した受賞作品を朗読し、現在、社会で最も必要とされているコロナウイルス感染症対策が税金で行われていることに感謝しつつ、将来は自分も社会の人の手助けができる大人になりたい、と抱負を語りました。その後、署内の視察や模擬決裁をして職員の方々と触れ合うことで署長業務を務めました。



役員の皆さんや、国税庁のゆるキャラ「イータ君」と記念撮影する石山さん

## おもてなしのやまなし知事表彰

山梨県観光文化課・甲州市観光商工課・勝沼中学校



市長と教育長に表彰の報告をする校長と生徒会長

山梨県では、平成23年に制定された「おもてなしのやまなし観光振興条例」に基づき、優れたおもてなしを実践している県民や事業者を表彰しており、今年で10回目を迎えます。表彰条件の一つである「山梨の歴史や文化に関する講座の開催、伝統文化の保存・継承など、郷土の魅力や価値についての知識や理解を深める活動に積極的に取り組み他の模範となる活動」に、エリアウェブ143号(11月16日発行)でも紹介した「鳥居焼き」の護摩木積みと聖火の一点火を担う勝沼中が選ばれ、受賞しました。1月28日の表彰式の後、校長と生徒会長が甲州市役所を訪れ、市長や教育長らに表彰の報告を行いました。



## ものづくり体験教室と親子活動

山梨県職業能力開発協会

山梨市立後屋敷小学校・山梨小学校 甲州市立東雲小学校・塩山南小学校

山梨県職業能力開発協会では、厚生労働省の委託事業として「ものづくり体験教室」を実施しています。今年度は峡東地区から11校が選ばれ、様々な体験授業が行われました。後屋敷小では11月27日、山梨小では1月29日にそれぞれ5年生が親子活動で「篆刻」と呼ばれる手彫り印章を製作しました。講師の「山梨県印章彫刻技能士会」の方々の中には、この道70年という旧六郷町の伝統工芸士の方もおられ、山梨が全国に誇る貴重な文化を身近に体験できる授業でした。参加した親子たちは、講師から象形文字が楷書体に至る文字の歴史や、なじみのない「印刀」の使い方などを学び、篆書体で児童の名前の一文字を力と心を込めて石印材に彫りました。生まれた子どもに名前を付けるとき、その漢字には様々な思いが込められます。親子で完成させた世界で唯一の印章は、家族の思いも込められた記念の品となりました。

同じく「ものづくり体験教室」事業を活用し、東雲小では1月26日、塩山南小では31日に6年生が卒業式で付けるコサージュ(胸元の花飾り)を製作しました。講師は「山梨県フラワー装飾技能士会」の皆さんで、年間600個以上の依頼を受けているそうです。児童たちは細かい作業手順の説明を聞きながら、一つひとつのパーツを丁寧に作り、美しく見えるように全体のバランスを確認しつつ仕上げていました。

6年間の思い出が詰まった卒業式はもう間近です。友達や家族、先生方に感謝を伝える思いと、美しいコサージュを胸に、元気に巣立って行くことでしょう。

両事業で共通していた感想には、「こんな仕事があるとは知らなかった。」「(ものづくりは)コツがわかると楽しくなる。」などがあり、職業やその技能を知ることから、自分の将来を考える良い機会となりました。



協力して慎重に彫り進める後屋敷小の親子



同じく、力も心も合わせて作業する山梨小の親子



真剣な表情で細かい作業を行う東雲小の児童たち



同じく、製作を楽しむ塩山南小の児童たち

## ～絵手紙で家族に思いを伝えます～

甲州市立大和小学校・勝沼小学校

大和小と勝沼小では、6年生の卒業制作で大和地区在住の有賀政代さんを講師に迎え、「絵手紙」を制作しています。有賀さんは両校の指導を始めて今年で約20年になるそうです。12月や1月にそれぞれ2回ずつ行いましたが、1日目は児童が各家庭から持ち寄った彩色豊かな果物や野菜などの題材を、使い慣れない筆と墨で描き、工夫し

ながらきれいに色を付けました。2日目はその余白に、小学校卒業までお世話になった家族に向けた感謝の言葉と、将来の夢や抱負などを紙一杯に書き、芸術的な作品に仕上げていました。絵手紙は、絵にも文字にも作者の個性が味わい深く表れます。子どもたちの素直な思いが、もらった人たちの心を温めてくれることでしょう。



先端を持つよう筆の使い方から指導され、真剣に線を引き勝沼小の児童たちと、丁寧に色付けする様子



一文字ずつ心を込めて家族への手紙を書く大和小の児童たちと、完成した絵手紙



## 聴覚障害について学ぶ

山梨市立加納岩小学校・山梨市社会福祉協議会



講師と向き合い、真剣に聴く児童

加納岩小では山梨市社会福祉協議会の協力のもと、1月15日に3年生の福祉講話を行いました。講師に、幼少期の感染症がもとで後天性の聴覚障害を負った山梨市在住の飯島康夫さん（山梨県障害者福祉協会理事長）と、手話通訳の小椋英子さん（日本通訳士協会会長）をお迎えし、聴覚障害について知識を深めました。児童は講話の中で普段の何気ない生活がどれだけ音の情報に頼っているかを改めて知り、いくつかの手話を教えてもらいながら聴覚障害者との接し方や、障害を乗り越える工夫や努力の大切さを学びました。事後学習の「講師へのお礼の手紙」では「今回の福祉講話を通して、耳の聞こえない方との関わり方を知ることができました。また、これからもっと手話を覚えることで、耳が聞こえない人ともコミュニケーションをとりたいです。」といった内容のものが多くありました。障害を持ちながらも生活への工夫や努力を重ねて前向きな気持ちで人生を送っている講師の生き方を学ぶことができ、自分たちも誰かの役に立ちたい、社会福祉に貢献したいと思う気持ちを育てることができた事業でした。



## ～全ての命は「だっこ」されて今がある～

笛吹市立石和北小学校

1月21日、石和北小2年生の親子学習会で「いのちの授業」が行われました。講師を務められた、都留市立病院の助産師で誕生学協会認定・誕生学アドバイザーの海野聖子先生は、自分の命がいつ、どこで始まり、どうやって赤ちゃんに成長して



赤ちゃん人形を抱き、誕生時の思い出を語り合う親子



赤ちゃんが行う、産まれる時に必要な工夫などの説明に聴き入る親子たち

いくのかを「子宮」や「胎盤」、「羊水」など、その役割から解りやすく説明してくれました。また、母子共に命がけとなる出産のしくみや、生後、言葉がけやスキンシップなどの愛情が与えられないと1年以内に死亡する事例なども紹介し、今の命があるのはたくさんの愛を与えられたからであることを改めて教えてくれました。また、新生児と同じ身長体重の人形を親子で抱っこをして体感することで愛情の再認識をしていました。講話後には「生まれてきてくれてありがとう、産んでくれてありがとう。」といった感想も聞かれ、親子でかけがえのない命の尊さを学ぶ貴重な機会となりました。

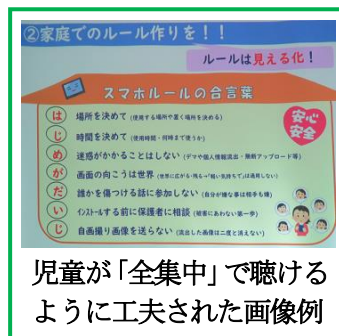
## スマホ・ゲームは正しくこわがり、かしこく使う 笛吹市立一宮北小学校

1月22日、一宮北小は5、6年生と希望する保護者を対象に、県内の多くの学校で講師を務めている山梨県教育庁生涯学習課 青少年保護育成担当の石原 裕 氏を招き、「スマホと子育て学習会」を開催しました。今やオンラインゲームや動画視聴を目的としたインターネット利用率は、小学生においても86.3%と急速に広まっています。特に、深夜にまで及ぶ長時間の使用や膨れ上がる課金から抜け出せないゲーム依存



真剣に耳を傾ける児童と保護者

は社会問題にもなっています。講師は保護者に向け「〇〇依存の人にとって〇〇は生きていくために必要な杖と同じ。取り上げたら生活できない。時間や自分の欲求をコントロールすることが重要。また、杖の代わりに自分を支えてくれるものを渡す必要があり、それは子どもの時期だからこそできるリアルな自然体験、友達との遊び、家族との触れ合いなどから得られる喜び」と語り、児童からは「スマホの怖さも、向き合い方も学ぶことができました。使い方について家族と話し合いたいです。」といった感想があり、親子で一緒に考える大切さが伝わってきました。



児童が「全集中」で聴けるように工夫された画像例



## 税金って何に使われているの？

笛吹市立御坂東小学校

御坂東小の6年生は1月26日、笛吹市役所税務課の河野さんらを講師に迎え、租税教室を行いました。児童たちは税金の種類や使い方などについて、クイズ形式の質問やアニメのDVD視聴を交えて楽しく税金の仕組みを学んでいました。100円の消費税8円分を全国民が支払うと10億円になるそうです。また、義務教育の9年間に一人あたりの教育費に使われる税金は1,070万円にもなるそうです。児童たちは税金が自分たちの生活に身近に関わっていることを知り、税金をきちんと納めることと共に、正しい使い方をしているかチェックすることの大切さについても学びました。



講師の質問に元気よく答え、プール建設費と同額である1億円の模擬札の量と重さに驚く児童たち



## 障がい者体験による福祉教育 笛吹市立一宮中学校 笛吹市社会福祉協議会

一宮中では笛吹市社会福祉協議会の協力のもと、1月29日に1年生の福祉教育を行いました。生徒たちはコロナウイルス感染症対策もあって3グループに分かれ、一宮中卒業生の聴覚障害者である宮川 美樹さん、手話通訳者の桐原 サキさん（笛吹市役所設置）による「手話講座」、山梨県ブラインドサッカークラブ代表の栗木 二仁さんによる「ブラインドサッカー体験」、障害者地域活動支援センターふえふき所長 鈴木 勝利さんによる「障害者差別解消法講座」の3つの講座



真剣な表情で聴く生徒たち

を、全員がローテーションで体験しました。生徒たちは、身をもった実体験を通すことから視覚、聴覚障害者の気持ちに寄り添い、講話から全ての人々が障害の有無によって分け隔てられることなく相互に尊重し合いながら共生する社会が実現されることが大切であることを学び、これまで以上に障害者に対する理解を深めることができました。



手話やブラインドサッカーを意欲的に体験する生徒たち

## 「思い」を伝える御陣屋太鼓

笛吹市立石和南小学校

笛吹市は幼稚園から老人クラブまで、あらゆる世代で和太鼓の演奏が盛んな全国的にも希少な地域です。石和南小の地区にも40年の歴史を持つ「御陣屋太鼓」の伝承があり、4～6年生がクラブ活動の練習成果を地域の祭りなどで披露してきました。さらに昨年度から笛吹高校すいれき太鼓部の顧問である望月健士郎先生に指導を仰ぎ、いっそう技術を磨いています。和太鼓は仲間と呼吸を合わせ、激しい体力を使う体育会系の集団競技の要素もありますが、「芸術」なので、いかに聴衆に演者の「思い」が伝わるかが重要だそうです。

児童たちの感想によると「練習では失敗続き」だったそうですが、2月3日の発表会本番は、演者の「思い」を伝えようとする心が一つになり、聴く人の心に響く、勇気や希望を与えてくれた素晴らしい演奏になりました。



威勢の良い掛け声が出せない分、全身で思いを伝える児童たち



## リズムに合わせて音楽あそび

子育て支援センターえいわ



春日居あぐりステーションの広い部屋をいっぱいを使い、ピアノの曲に合わせて元気に太鼓をたたき乳幼児と保護者たち

それぞれの子育て支援センターでは、主に乳幼児とその親同士が交流を深める場として気軽に相談したり、参加して楽しめる様々なイベントを企画しています。

普段は山梨英和プレストン子ども園の2階で活動している「子育て支援センターえいわ」は、月に2～3回、広々とした場所が利用できる春日居あぐり情報ステーションに出張ひろばを開設しています。2月4日には、「音楽あそび」を実施しました。講師はピアノ教室や音楽イベントを行っている方々で、楽しませながらも子どもたちの個性や発達段階に合わせて、親子に寄り添った声かけを行っていました。参加した親子たちはスタッフや山梨英和大学の学生ボランティアとともに、ピアノの伴奏に合わせて歌ったり、踊ったり、様々な楽器に触れたりしながら、全身を使ってリズムあそびを行い、親も子も共に楽しい時間を過ごしていました。



## 山廬（俳諧堂）での俳句教室

笛吹市立境川小学校・山廬文化振興会

2月8、9日、境川小学校の5、6年生は境川出身で郷土を代表する俳人飯田 蛇笏、龍太の生家である「山廬（俳諧堂）」で、俳句教室を行いました。児童たちは、蛇笏の孫で山廬文化振興会理事長である飯田 秀實氏より実際に蛇笏と龍太が生活し、制作活動を行っていた部屋で俳句についての説明を受けた後、振興会理事の雨宮 高文氏ら、地元の俳句会の皆さまの指導を受けながら俳句づくりに挑戦しました。特に6年生は「卒業」を季語に、寂しさを感じながらも、期待に胸を膨らませる気持ちや、日常の何気ない幸せを再認識する気持ちを素直に読み、大人顔負けの作品を発表しました。山廬文化振興会では、希望する学校を対象に俳句教室を実施できるそうです。児童たちは、様々な自分の思いを最小限の言葉に工夫して表現する楽しさを学び、他者の作品から良い点や新たな発見を見つけ合う、俳句本来の魅力を満喫しました。



俳句会の皆さまから指導を受ける児童たち



蛇笏と龍太が生活した部屋で、説明を受ける児童たち

# 山梨市スポーツ少年団体験会

# 山梨市スポーツ少年団・生涯学習課



ストラックアウトに挑戦する野球の体験者

スポーツ少年団は「一人でも多くの青少年にスポーツの喜びを提供する」「スポーツを通して青少年の心と身体を育てる」「スポーツで人々をつなぎ、地域づくりに貢献する」の3つの理念のもと、活動拠点を学校内ではなく、地域社会の中に置いて活動する団体です。山梨市には7種目23団体がありますが、コロナ禍における団員数の減少や事業中止の自粛ムードを打破するため、県内初のACP（アクティブ・チャイルド・プログラム：発達段階に応じた運動プログラム）クラブを加えた8種目が一堂に会し、合同で競技体験会を実施しました。今年が初めての試みで、運営方法の検討や調整に苦労がありましたが、当日の2月14日には幼児・児童が約100名、保護者約70名もの参加があり、大盛況でした。全競技を体験して回った最後には、豪華賞品が当たるジャンケン大会も企画され、参加した家族みんなで楽しい時間を過ごしていました。「始めてみたい」そう思えるスポーツと共に、心と身体を育ててみませんか。



ゴール隅を狙って蹴り込むサッカーの体験者



トスを上げ合うバレーボールの体験者



シュートに挑戦するハンドボールの体験者



フリースローに挑むバスケットボール体験者



ダブルダッチで準備運動を行う柔道の参加者



打撃と蹴りの連続技に挑戦する空手の体験者



トランポリンで跳ねるACPクラブの体験者

## 峡東教育事務所からのお知らせ

- ※ 本号をもって令和2年度のエリアウェブ発行は終了となります。今年度はコロナウイルスの影響で地域教育活動が激減しましたが、多くの関係機関にご協力いただき、一年間発行を続けることができました。誠にありがとうございました。次年度に向け、3月中も取材対象の募集は続きます。共有したい情報や、教育事務所への要望などがありましたら、これまでどおり随時ご連絡ください。
- ※ 令和3年度から「山梨ことぶき勸学院・峡東教室」は「甲府教室」（〒400-0807 甲府市東光寺2-25-1 Tel 055-233-6947）に統合され、東山梨合同庁舎では開催されません。受講希望の皆さまには大変ご不便をおかけしますが、何とぞご理解をお願い申し上げます。

### カラー版をご覧ください

『エリアウェブ』はカラー版を峡東教育事務所のホームページで掲載中です。右のQRコードをスマホのカメラから読み取り、ホームページを開いて下さい。是非ご覧ください。



エリアウェブ  
ホームページ

ホームページアドレス

<https://www.pref.yamanashi.jp/kyoiku-hym/chiiki/areaweb.html>

### ご意見をお寄せください

◎『エリアウェブ』のご意見・ご感想・取材情報をスタッフ一同お待ちしております。右のQRコードをスマホのカメラから読み取り、メールでご連絡いただくか、表紙右上の連絡先にご連絡下さい。



E-mail アドレス

[kyoiku-hym@pref.yamanashi.lg.jp](mailto:kyoiku-hym@pref.yamanashi.lg.jp)

お問い合わせ